

平成28年度 都城市立 夏尾小学校 学校関係者評価書

4段階評価 4・・・期待以上 3・・・ほぼ達成 2・・・やや達成できていない 1・・・達成できていない

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評価		結果の考察・分析及び改善策等	
				指標別	総合		
学びの基本づくり	授業力	1 よく分かる授業を目指し、1時間の授業の充実と一人一人に応じたきめ細かな指導を行う。	・ 児童、保護者のアンケート評価で、AあるいはB評価が80%以上を達成する	・ 校内研究において一人一授業を行い、広く授業を公開することで、日々の授業改善を図っていく。	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研修や学級活動の公開授業において研究授業を行い、学業指導の徹底を図り、定着しつつある。 ・ マスタータイムにおける習熟の時間の実施方法や内容の見直しを行い、計算の習熟についてはweb単元評価システムを活用し、漢字の書き取りにおいてはそれぞれの学級で工夫をして行った。市学力調査の結果を待っている段階である。みやさき学力調査では県の平均を上回る教科が多かった。今後も個別指導の充実と習熟時間の確保について工夫改善を図っていききたい。 ・ 各種教育活動の中で自分の思いや考えを伝えることはほとんどの児童ができていた。しかし、児童の評価は72%と低い評価になったので、今後は聞く力の育成について指導の在り方を研究していく必要がある。 ・ 家庭学習に対する個人差も大きい。家庭との連携を深めるとともに、児童に対して学習の目的や効果、努力の必要性について継続的に指導してきたい。
	基礎基本	2 マスタータイムにおける国語(漢字・言語事項)・計算の習熟、朝の読書等の充実を図り、「読み・書き・計算力」の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全学年がそれぞれの能力において到達目標の75%以上の到達度を達成する。(各種学力調査) ・ 単元テストの結果が平均80%以上の到達度を達成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1単位時間の中に習熟の時間を確保するように努め、個別指導の充実を図る。 ・ マスタータイムの実施方法・内容の見直しと共通理解・共通実践を図る。 	4		
	コミュニケーション	3 相手を意識した聞き方・話し方の定着を図る。	・ 児童、保護者のアンケート評価で、AあるいはB評価が80%以上を達成する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏尾伝統の自分の意見を言える力の継続を図る。 ・ あらゆる教育活動におけるスピーチ活動を充実させる。 	3		
	家庭学習	4 家庭と連携しながら家庭学習の習慣化を図る。	・ 「自主的に宿題や宅習をする」と答える児童や保護者の割合が70%以上を達成する。	・ 家庭学習の習慣化を家庭へ呼びかける。学習の目的及び家庭学習の仕方について児童へ継続的に指導する。	3		
豊かな心の基本づくり	教育相談	5 児童理解のための教育相談の充実を図る。	・ 「学校が楽しい」と肯定的な回答をする児童の割合が90%以上を達成する。	・ 児童理解の方策を工夫し状況に応じた相談の充実や体制の整備を行う。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回、教育相談週間を設定することによって、児童の思いや悩みを耳を傾け、児童理解に努めた。肯定的な回答をした児童・保護者・地域は100%となった。今後もさらにきめ細かな指導を継続していききたい。 ・ 学校が楽しいかという質問項目に対して、児童、保護者、地域の肯定的な回答は100%であった。今後も、生徒指導の三機能を生かした授業づくりや自己肯定感を高める学校づくりに努めていきたい。 ・ 挨拶については、児童、保護者、地域ともに95%が肯定的な回答であった。しかし、職員は、だれにでも進んであいさつができるまでには至っていないという考えであり、今後も継続して日常指導を行っていききたい。 ・ きまりを守ることにについては、肯定的な回答をしている児童が目標の80%を達成している。地域からは100%の評価をいただいた。 ・ 年間指導計画に沿って道徳・学級活動の実施を行うことはできた。11月には、コミュニケーションスキルの市内の先生方に公開することにより、児童の授業への取組態度も含めて高い評価をいただいた。 ・ 友達に対する思いやりについては85%の児童が肯定的な回答をしている。保護者・地域からの回答は95%が肯定的な回答をしている。今後も、道徳・学級での具体的な指導をすることによって、人権感覚を育てていきたい。
	あいさつ	6 学校や地域社会で進んであいさつのできる子どもを育成する。	・ 「進んであいさつをする」と肯定的な回答をする児童の割合が90%以上を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつ運動を利用して、あいさつに関する指導を行う。 ・ 日常指導を継続して行う。 	4		
	きまり	7 「きまりよい廊下歩行」「安全な登下校」を守る児童を育成する。	・ 「きまりよい廊下歩行・安全な登下校」をしっかりと守られていると肯定的な回答をする児童の割合が80%以上を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集会等を利用して、廊下歩行や登下校に関する指導を行う。 ・ 掲示物を常設し意識化を図る。 ・ 常時指導を徹底する。 	3		
	思いやり	8 人権教育の充実を図り友達に対して思いやりのある言動のできる児童を育成する。	・ アンケートの思いやりの項目について児童、教師、保護者、地域の評価で肯定的な回答が80%以上を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育活動の中に自己肯定感を高めるシステムを構築する。 ・ 学級運営の中にお互いのよいところを認め合う機会をつくる。 ・ 道徳の時間の適切な実施を図る。 ・ や学級活動の中にコミュニケーションスキルを取り入れた授業を実施する。 ・ 教師一人ひとりが児童理解に努め、温かい雰囲気のある学級経営を行う。 	4		
健康安全の基本づくり	体力向上	9 体育の授業や「ぐんぐんタイム」に「体力づくり」を取り入れることにより、児童がいろいろな運動に親しむ機会をつくり、バランスのよい体力の向上を図る。	・ 全学年が運動能力調査において個人到達目標の75%以上の到達度を達成する	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぐんぐんタイムの計画的な実施を図る。 ・ 体育授業において運動量の確保をする。 ・ 機会を捉えて外遊びの奨励を図る。 ・ 水泳特別練習を実施する。 ・ 授業前、授業中の立腰指導の実施を図る。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月の新体力テストの結果はB判定1名、C判定5名、D判定3名という結果であった。種目別では50m走や反復横跳び等、瞬発力や俊敏性に係るものが全体的に落ち込んでいる。今年度は継続的な「なわとび」運動をぐんぐんタイムに取り入れることによって体力の向上を図ってきた。体育では全学年の合同体育を行っている。 ・ 食育については、今後も養護教諭による食の指導や、給食の時間や学級活動などにおける食に関する指導の充実を図るとともに、家庭と連携しながらさらに食育の推進を図る。 ・ 早寝、早起き、朝ご飯に関しては職員は指導・啓発を頑張っているという意識があるが、児童、保護者のアンケート評価では80%に満たない。それぞれの家庭環境もあるが、継続的、計画的に指導・啓発を繰り返していききたい。 ・ 学校歯科医の先生から児童向けに歯の健康について講話をしていただいた。生活環境との関係性も扱われていて、たいへん有意義な話であった。今後は保護者に対しても講話をしていただくよう計画していききたい。 ・ 学校保健委員会を2回実施することはできたが、今後も実施時期や内容などを工夫していききたい。 ・ 水泳、運動会、持久走前の健康調査は100%回収できた。配慮の必要な児童については特になかったが、事前の調査を確実に行っていききたい。 ・ 遊具の安全点検を行い、市教委の支援によって修理をすすめることができた。
	食育推進	10 養護教諭との連携を図り、給食時間や各教科、学級活動等における食に関する指導の充実を図り食に関心をもつ児童を育成する。	・ 養護教諭との連携も図りながら、全学年で食に関する授業実施率100%を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間指導計画に基づいて食に関する授業を実践する。 ・ ランチルームでの給食指導の充実と適切な運営を図る。 ・ 給食感謝集会を実施する。 ・ 弁当の日の活動を推進する。 	3		
	健康管理	11 PTA活動や家庭と連携しながら、「早寝・早起き・朝ごはん」の意識の向上を図る。また自分の体は自分で守る児童の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート評価で「早寝・早起き・朝ごはん」の実施率80%以上を達成する。 ・ 学校保健委員会を年2回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症予防のための手洗い・うがいの徹底を図る。 ・ 学校保健委員会における保護者への啓発活動を実施する。 ・ 学級懇談会や学級指導の中で日常的に指導する。 ・ 保健便りの発行を推進する。 ・ 健康に関する個別指導を行う。 	3		
保健安全	12 毎朝の健康観察や特定の運動(水泳・運動会・持久走)の事前健康調査を確実にを行い児童の健康状態を十分把握する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康観察・特定の運動の事前健康調査実施率100%を達成する。 ・ 毎月1回、遊具等の安全点検を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎朝の健康観察の確実な実施を行う ・ 健康に関する保護者との連絡を密にする。 ・ 事前の調査書配布と100%回収に努め、配慮の必要な児童は全職員で共通理解を図る。 	4			
教育課程全般	教育課程	13 本校独自の特色ある教育課程を編成し、知・徳・体の調和のとれた児童を育成する。	・ 教育課程評価やアンケート評価で80%以上を達成する。(教師・保護者)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎学期の教育課程及び教育活動状況を評価し、改善を図るようにする。 ・ 共通理解を図る場を数多く設定する。 ・ 行事等は全職員で協力して行う。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程について、アンケート評価は職員、保護者ともに93%の肯定的な回答であった。体験活動を重視した教育活動であり、見直しも含めて次年度、極小規模校の特性に応じた校時程の改善を行いたい。 ・ 小中連携の取組について、さらに工夫改善を図っていく必要を感じた。 ・ 学校の教育活動に関する説明責任については継続的な学校だよりの地域への配付、学校Webページの開設等積極的に進めてきた。特に、地域の肯定的な評価は100%であった。 ・ 本校の特色である奴踊りを活用し、地域の行事に多く参加することができた。学校の姿を多くの地域住民へアピールすることができた。また、奴踊りの伴奏者として保護者、地域の方々にバックアップをしていただいたことが有り難かった。
	参観日	14 参観日等を魅力あるものに工夫し、広く学校の取組を発信する。	・ 参観率90%以上を達成する。	・ 参観日の日程・内容等を工夫し、通信等で発信し、参加を促進する。	4		
	総合的な学習の時間	15 総合的な学習の時間(ふるさと学習)の充実を図り、郷土を愛する心を育てる。	・ アンケート評価で80%以上を達成する。(児童・教師・保護者・地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に地域の素材や人材を活用する。 ・ 豊かな体験や児童の自主性・自由な発想を生かせる展開を心がける。 	4		
	連携	16 保護者及び地域の各種団体や施設等との交流を行い、体験活動を積極的に進行。また学校だよりのWebページで学校の教育活動の周知を図る	・ 保護者、地域からのアンケートで80%以上を達成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通信等で保護者の協力を得ながら、積極的な参加を呼びかける。 ・ 地域の行事等に積極的に協力する。 ・ 学校だよりの確実な発行をする。 ・ 学校Webページの充実を図る。 	4		
<p>【総評】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いつも、元気よく、子どもたちは全力で頑張っている様子がわかる。あいさつもよくできる。 ・ 学習面でも行き届いた教育ができています。授業や活動をみて一人一人の児童が驚くような発表をしてくれる。 ・ 生活面に関しては、学校と家庭がさらに連携を深めながら、「早寝、早起き、朝ごはん」といった基本的な生活習慣の確立に努力してほしい。 ・ 体力向上面では、他校の取組も参考にしながらよりよい活動ができるように工夫をお願いしたい。 							